

林業普及週間現地情報 (7/2 ~ 7/8)

森林管理課

木育出前講座 石垣市立平久保小学校

7月7日(金)

平成29年7月7日(金)、石垣市立平久保小学校において、小学1年生から6年生計8名を対象に木育出前講座を行った。

今回は、座学、校庭内のフィールドワークの2部構成で講座を行った。

まず、教室で行った座学では、佐喜眞普及指導員から「木と森林のはたらき」について説明を行った。森は水をきれいにすること、木の根っこが土を掴み土砂崩れがないよう山を守っている等の森林の持つ働きや、身近にある紙、鉛筆等の木製品の多さ、木を使って植えて育ててまた使うことの大切さを説明した。また、吉田普及指導員からは事前に調査した校庭内に生育している樹木について、クイズを行いながら、それぞれの樹木の特徴や用途などを説明した。

その後、実際に校庭に出て行った樹木観察のフィールドワークでは、児童たちは事前説明のあったガジュマルの実を割って、実の中に花が咲くことを確認したり、ソテツの雌株、雄株について、先生方に教えてあげるなど、実際に木に触れ、周辺に生息するナナフシやシジミ等の蝶にも興味を示していた。

児童からは、「これまで、身近にある木や森についてよく考えたことがなかった。」「森の役割や木を使うことの大切さを学ぶことができた。」「これから身近な自然を大切にしたい」等の感想をいただいた。

今回の木育講座で、身近にある木や虫等の自然に興味関心が深まった児童たちが、今後も自分たちの校庭や身近な動植物の観察・保護に取り組んでいくことに期待したいと思う。



(報告者：八重山農林水産振興センター 吉田、佐喜眞)